# 総務省　多文化共生アドバイザー

No.07

## 1．基礎情報

| | |
|---|---|
| 自治体名 | 秋田県 |
| 担当部署名 | 企画振興部国際課 |
| 電話番号 | 018-860-1218 |
| ホームページ | https://www.pref.akita.lg.jp/kokusaika |

防災支援グッズ（防災手ぬぐい・Helpカード）

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 在留外国人数 | 令和4年12月現在 | 4,589 | 人 | 住民基本台帳人口に占める割合 | 0.5 | % | | | | |
| うち、国籍別上位3ヶ国の人数及び国籍名 | 1位（　中国　） | 923 | 人 | 2位（ フィリピン ） | 862 | 人 | 3位（ ベトナム ） | 809 | 人 | |

## 2．多文化共生に関する活発な取組や、独自性・先進性のある取組の内容

| | |
|---|---|
| 大分類 | コミュニケーション支援 |
| 小分類 | 行政・生活情報の多言語化、相談体制の整備 |
| 具体的な取組内容 | **取組のポイント**　秋田県外国人相談センターと地域外国人相談員の連携体制の構築<br>本県は広い県土に外国人が散住しており、全県域で外国人からの相談に対応するため、県内各地に地域外国人相談員を配置し、秋田県外国人相談センター（一元的相談窓口）と連携した相談体制を構築している。地域外国人相談員は、県が各地域の日本語教室の主宰者等へ委嘱しているもので、日頃の活動の場において、外国人からの相談対応等の支援をお願いしている。地域外国人相談員が対応する相談は日常の細々とした内容が多いが、行政等が介入する必要のある専門的な相談があった場合は、秋田県外国人相談センターとも協議をしてもらうなど、相談の内容に応じて連携しながら対応している。年に数回、県、秋田県外国人相談センター、地域外国人相談員及び市町村等の関係機関が参集する連絡会議を開催しており、在住外国人のセーフティネット構築及び強化に繋がっている。 |

| | |
|---|---|
| 大分類 | 意識啓発と社会参画支援 |
| 小分類 | 多文化共生の意識啓発・醸成 |
| 具体的な取組内容 | **取組のポイント**　外国人向け防災支援グッズの無料配付と広報の強化<br>秋田県外国人相談センターの設置運営を委託している（公財）秋田県国際交流協会との協働事業で、多言語の防災支援グッズを制作し、県内在住外国人に無料で配付している。防災支援グッズは、日本語と外国語（英・中・韓・タガログ・ベトナム・インドネシア）が併記されている手ぬぐいや名刺サイズのカードで、避難行動をとれるようにする指さし会話がプリントされており、外国人の防災意識の啓発を目的としている。また、防災関連の記念日等にあわせた広報を強化することで、日本人にも外国人相談センターの活動を知っていただき、災害時に外国人を支援してくれる県民を増やす取り組みも行っている。防災支援グッズは様々な関係機関や団体で活用していただいており、市町村の住民登録窓口で転入外国人に配付している例や、企業支援の担当職員が企業訪問時に配付し、技能実習生の受入状況を把握している例が見られる。防災意識の啓発とともに県内の在住外国人の状況把握にも寄与している。 |